令和７年度 事業報告

１　事業概要

法人経営においては、「ガバナンスの強化」、「透明性の確保」、「財務規律の強化」を基本として、第４次中期経営計画の２年目として事業を推進しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルスなどの感染症は流行することもなく、従来からの感染対策を継続しながらも、施設での面会や各種行事等を実施し、日常を取り戻す１年となりました。また、新たな取り組みとしてインドネシアから特定技能外国人を採用し、人材確保に取り組みました。

令和７年の室蘭市内出生数は 287 人であり、前年度の 346 人から約 17%減少し、始めて 300 人を割り込みました。近年では最大の減少率であり、保育所は大きな影響を受けました。利用定員はみどり保育園の閉園により前年度の 440 人から 420 人となり、次年度はさらに減少し 400 人となります。稼働率は、全体として 95.5%であり、前年度より 0.7%上昇しました。

施設整備については、特養部門においては、白鳥ハイツの延命措置により旧館の暖房管改修工事を行いました。また、セキュリティー強化のためエンルムハイツ従来型施設で電子錠を設置し、あいらんでは防犯カメラを設置しました。保育部門においては、楽山保育園のグラウンドの整備や白鳥保育所の照明ＬＥＤ化を実施しました。

事業活動における収入は、介護保険事業及び老人福祉事業において増加しましたが、保育事業においてはみどり保育園閉園のため減少し、全体としては増加となりました。これに対して支出は、人件費支出、事務費支出は減少しましたが、事業費支出は大規模修繕により大幅に増加しました。事業活動収支はプラスとなっております。当期資金収支差額は約 4,560 万円、積立資産を 2,960 万円計上しましたが、運営資金として積立資産を 2,790 万円取り崩しているため、当期活動の余剰金は約 4,730 万円となりました。物価の高騰、最低賃金の増加、人材確保のための経費など、経営環境の厳しさは継続しておりますが、第４次中期経営計画に基づき、安全安心な施設のために計画的な修繕を進め、サービスの質の向上や人材確保のため、職員の処遇改善は継続してまいります。また、人材不足解消のため導入した特定技能外国人は、一定の成果が認められ、継続的に受け入れを実施します。これらにより、さらに安定経営を目指します。

（1）特別養護老人ホーム（白鳥ハイツ、エンルムハイツ従来型・ユニット型）

在宅での生活が困難となった高齢者に対し、安心・安全な生活の場を提供するとともに、日常生活全般を支援することでその人らしい暮らしの継続を支え、また地域における高齢者福祉を支える中核機関としての役割を果たすべく、要介護3から要介護5の方々の受け入れを中心として事業を実施してまいりました。

今年度は感染症の流行は昨年度よりも落ち着きを見せ、施設内での大規模な感染拡大はありませんでした。そのため、年間を通して面会や施設内活動の制限を最小限にとどめることができ、レクリエーション活動や季節行事の充実、リハビリテーションの強化など、日常生活の活性化に向けた取り組みを継続して行うことが出来ました。

介護職員の不足感は依然として続いておりますことから、今年度は人材確保に向けた新たな取り組みとして9月にインドネシア人の特定技能外国人が両施設で2人ずつ新たに入職し、現場の戦力として加わりました。異文化理解を深めながら介護技術的な指導や研修を行いつつ、私生活へのサポートなども通じてチームの一員として順調に業務にも適応しており、令和8年度も両施設でそれぞれ2人ずつの入職を予定しております。また昨年度同様、実習生の受け入れを続けるとともに、市内公立学校での介護に関する学習授業や職業講話などへ講師として派遣し、介護職に対しての興味や関心が高まるよう活動いたしました。

今年度のベッド稼働率は、感染症発生の減少や長期入院者の減少などにより、昨年度に比べて安定した状態を維持することができ、昨年度を上回る結果となりました。一方で、人件費や物価の高騰は依然として経営に大きな影響を与えており、効率的な運営とサービスの質の両立が求められる状況が続いております。

白鳥ハイツにおきましては、老朽化対策としての旧館暖房配管改修工事を無事終了し、今年度はボイラー1基の入れ替えを実施する予定です。

＊令和7年度　一日平均入所者数・平均稼働率　（前年度）

白鳥ハイツ　【定員100人】	96.8人・ 96.8%（93.8人・93.8%）
エンルムハイツ従来型【定員 48人】	48.4人・100.9%（47.5人・98.9%）
〃　ユニット型【定員 54人】	51.9人・ 96.1%（51.4人・95.1%）

（2）養護老人ホーム（あいらん）・特定施設入居者生活介護事業所

今年度に関しては、大きな感染もなく安心して暮らせた1年だったと感じました。ただ、物価高騰が続く中で経営に大きな影響を与え、さらには人件費も上がっており、厳しい経営が続いております。今後において更なる物価高騰が続くと思われますが、職員全員で経費の削減に取り組んで参ります。

また、ご利用者に関しては、要介護化が進み、身体介護や認知症対応の必要性が高まっているなかで、精神疾患や家族関係の困窮など生活背景が今までに比べ複雑になってきており、職員に大きな課題として、のしかかってきており、今後において新規ご利用者の対応が求められる状況が続くと思われます。

令和７年度の利用状況は入院者が多く定員割れもありましたが、年度末になり緊急入所者が多かったことにより、定員が埋まりました。今後においては、一般入所者を増やす努力をしていきたいと思います。

＊令和７年度　一日平均入所者数・平均稼働率　（前年度）

養護老人ホーム　【定員 80 人】	79.4 人・99.3%（76.0 人・95.0%）
うち特定施設　【定員 30 人】	29.1 人・97.1%（29.9 人・99.7%）
あいさぽ事業	8 回　43 人（　9 回　61 人）

（３）通所介護事業所（白鳥ハイツ、エンルムハイツ・かがやき）

当初より予想されていたとおり昨年度も物価・燃料費等の高騰が続く中、各事業所において物品関係や光熱水費の経費削減に知恵を出し合い対策を講じた年度となりました。

競合事業所が増加するなか、より一層のアピールが必要となりますが、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所への積極的な営業活動を行い、信頼関係の構築と自事業所の活動の様子を宣伝することにより新規利用者の獲得へとつなげることが出来ました。

白鳥ハイツは、感染症蔓延によるお休みや、冬期間の利用控え等の影響、自然災害等による営業中止もなく、安定した稼働状況となりました。新規利用者につきましても、例年よりも多くの依頼を受けることができました。

エンルムハイツは、営業活動を行うことで新規利用者の獲得はするものの、既存利用者（要介護者）の特養等への入所、医療機関への入院等が多くみられ、廃止者が新規利用者数を上回る傾向がみられました。利用者増も念頭に、リハビリを兼ねた外出活動、コンサートの開催、衣類・食料品の販売会や四季を感じていただく行事の開催など、例年にはない取り組みにチャレンジした１年でした。

かがやきは、新規利用者獲得のため毎月通信を作成し、おやつレクの様子や新たなレクを考案しその様子を掲載し地域包括支援センターや居宅介護支援事業所へアピールを行いました。

＊令和７年度　一日平均利用者数（前年度）

	通常型	認知症対応型
白鳥ハイツ	１日 21.8 人（前年 21.1 人）	―
エンルムハイツ	１日 22.8 人（前年 21.2 人）	―
かがやき	１日 21.9 人（前年 22.0 人）	１日 6.9 人（前年 6.7 人）

○総合事業（介護予防・日常生活支援）～基本チェックリスト該当者を含む。

（4）居宅介護支援事業所（エンルムハイツ）

特定事業所として、高齢者虐待のネグレストや生活困窮者などの困難事例には包括支援センター・行政・専門機関などに相談し連携をとりながら対応したり、認知症で判断能力が低下している利用者で家族や親族がいない場合は、早めに成年後見制度を検討し利用できるように説明を行い、自立支援を念頭に置いて支援をすることができました。

今年度は 4 人体制になり、新規獲得に力を入れ要支援者の委託も受け入れることにより目標件数を達成することができました。次年度も目標件数を達成できるように、各関係機関との連携を密にとっていきます。

12 月には介護予防支援事業所の認可を受けたので、地域活動に積極的に参加し地域と協同することで地域資源を活かし地域に根差したサービスを提供できるようにします。

＊令和 7 年度　プラン作成実績数　（前年度）

ケアプラン作成件数　件／月	介護 153.9 件／月 予防　 8.9 件／月　（165.4 件／月）
ケアマネ 1 人当たり平均件数（4 人）	40.7 件／月　（5 人 33.0 件／月）

（5）地域包括支援センター（白鳥ハイツ～室蘭市からの受託事業）

地域包括支援センターは、地域包括ケアを支える中核機関として市内に 4 箇所設置されており、白鳥ハイツは、蘭北地区（白鳥台・本輪西地区）を担当し、4 包括の中でも高齢化率が一番高く 50%に迫る勢いです。しかし高齢者人口の減少や高齢化率の増加、6 年度からの圏域変更にて、計画作成費は最高値の水準より 700 件程度減少しています。

総合相談に関しては内容が複雑化しており 8050 問題だけでなく、ヤングケアラー自体の経済困窮による虐待対応、身寄りのいない方の権利擁護支援、セルフネグレクトの方の介入拒否などあります。このような状況において、7 年度後半より医師会において、医師の訪問によるアウトリーチ事業が本格的に開始され、緊急性については医療の判断を仰ぐことが可能になりました。8 年度からは、室蘭市の事業として本格的に開始されます。

また、カスタマーハラスメント的な訴えも多くなってきている傾向にあり、ケアマネへの後方支援にも稼働が多くかかっているのが実情です。

＊令和 7 年度　予防プラン作成件数・相談件数/月（前年度）

作成件数	354.9 件　（383.5 件）
相談件数	106.1 件　（114.1 件）

（6）短期入所生活介護事業（ショートステイ ～ 白鳥ハイツ、エンルムハイツ）

短期入所生活介護の利用目的で、以前は介護者のレスパイト目的でのご利用が最も多かったのですが、今年度はレスパイト目的の方も以前からのご利用者様含め一定数はいましたが減少傾向にあり、代わりに、①「介護者の急用（冠婚葬祭や出張等）」と②「介護者の入院又は退院後で介護が出来ない」での理由で、ショートステイをご利用する方が多く見受けられました。

また、③「他施設への入居予定日までの期間」でのご利用も多く、長期利用となる場合は②と③による傾向がみられました。長期利用は一時的に稼働率の向上に繋がりますが継続性がなく、レスパイト目的が定期継続利用へと繋がる傾向があったなかで、令和７年度は地域のショートステイのニーズが変化してきていることを実感する一年になりました。

新規利用から定期利用に繋がった利用者は２割～３割程度でした。在宅での様子を伺い、ご利用時にご自宅と同じ様に対応させていただいたほか、関係機関とも密に連携し、迅速な受け入れを行うことができました。

エンルムハイツでは、ご利用中にトイレの窓から転落する大きな事故が発生してしまいました。再発防止対策として全居室だけでなく、施設内すべての窓に開閉制限を取り付けて、同様の事故が今後発生しないよう対応しております。ご家族様へも誠心誠意対応し、その後のトラブルもなく経過しております。

稼働率につきましては、前期は伸び悩みがみられましたが、後期になるにつれ、長期利用と継続利用の割合が一時的に増えました。エンルムハイツでは短期１枠を措置入所で長期利用し、地域のセーフティネットとしての役割を果たすことができました。

＊令和７年度　１日平均利用状況　（前年度）

白鳥ハイツ　　【定員６人】	3.5人　57.8%　（3.8人　63.2%）
エンルムハイツ【定員８人】	3.9人　48.5%　（3.7人　45.7%）

（7）保育所（双葉・楽山・白鳥・東町・常盤の５保育所）

職員と子どもの信頼関係を築き上げつつ、生活習慣を確立するのはもちろんのこと、地域の自然を生かし、散歩や公園での虫取りなど園外での活動で、自然と触れあう機会を多く持てるようにしてきました。

また、双葉保育所では、こども誰でも通園制度を、全国一斉実施より１年前倒しで実施し、常盤保育所では、室蘭市内で唯一の休日保育を実施するなど、地域へ保育力の還元ができた１年となりました。

稼働率としては、室蘭市の出生率が予想よりはるかに速く減少し、また、幼稚園の認定こども園化も進む中、保育所入所児童数がなかなか伸びず、年度末に１００％に達した３施設も、例年に比べると伸び率が低く、蘭北地区の白鳥保育所、蘭西地区の常盤保育所の２施設では、年間を通して満定員となる事が出来ませんでした。

○各施設の利用者数

・双葉保育所、４月　　５６人（93%）→　３月　　６３人（105%）
・楽山保育園　４月　　８１人（90%）→　３月　　９２人（102%）
・白鳥保育所　４月　　４２人（84%）→　３月　　４８人（ 96%）
・東町保育所　４月　１１７人（97%）→　３月　１２０人（100%）
・常盤保育所　４月　　９０人（90%）→　３月　　９３人（ 93%）

よって、令和８年度は、白鳥保育所と常盤保育所の利用定員を１０人ずつ減とし、全施設での満定員を目指します。

＊令和７年度　保育所入所状況（5 保育所合計）　　（前年度）

利用定員 420 人　（440 人）	401.3 人　95.5%　（417.2 人　94.8%）

２　評議員会開催状況

定　時

１）日　時　　令和７年６月２６日(木)　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　リハーサル室Ａ（１階）
３）案　件　　報告２件、認定１件、議案３件
４）てん末　　報告第１号「令和６年度事業報告」を報告した。
認定第１号「令和６年度法人決算」を審議し、認定された。また、
報告第２号「令和６年度監査報告」を報告した。
議案第１号「基本財産処分の件」及び議案第２号「定款変更の件」
を一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第３号「理事及び監事選任の件」を審議し、原案のとおり可
決された。

３　理事会開催状況

第１回

１）日　時　　令和７年６月１１日(水)　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　会議室（３階）
３）案　件　　報告４件、認定１件、議案１０件
４）てん末　　報告第１号「理事長職務執行状況」を報告した。
報告第２号「第４次中期経営計画実施状況の件」を報告した。
報告第３号「令和６年度事業報告」を報告した。

認定第１号「令和６年度法人決算」を審議し、認定された。また、報告第４号「令和６年度監査報告」を報告した。
議案第１号「基本財産処分の件」及び議案第２号「定款変更の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第３号「評議員候補者推薦の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第４号「苦情・相談第３者委員会委員選任の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第５号「評議員選任委員会委員選任の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第６号「令和７年度あいらん補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第７号「令和７年度かがやき補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第８号「令和７年度東町保育所補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第９号「令和７年度常盤保育所補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第１０号「令和７年度定時評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第２回

１）日　時　　令和７年６月２６日(木)　午後３時００分
２）場　所　　室ガス文化センター　リハーサル室Ａ（１階）
３）案　件　　報告１件、議案３件
４）てん末　　議案第１号「理事長選定の件」を審議し、選定した。
報告第１号「特別養護老人ホーム白鳥ハイツ旧館暖房管改修工事入札結果の件」を報告した。
議案第２号「令和７年度みどり保育園補正予算（第１号)」及び議案第３号「みどり保育園解体工事入札の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。

第３回

１）日　時　　令和７年９月２５日(木)　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　中会議室（２階）
３）案　件　　報告３件、議案８件
４）てん末　　報告第１号「理事長職務執行状況」を報告した。
報告第２号「みどり保育園解体工事入札結果の件」を報告した。
報告第３号「業務監査結果報告（第１四半期)」を報告した。

議案第１号「令和７年度エンルムハイツ補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和７年度あいらん補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第３号「令和７年度かがやき補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第４号「令和７年度楽山保育園補正予算(第１号)」及び議案第５号「令和７年度みどり保育園補正予算(第２号)」を一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第６号「令和７年度法人本部補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第７号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第８号「育児休業・介護休業に関する規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第４回

１）日　時　令和７年１１月２７日(木)　午後１時３０分
２）場　所　養護老人ホームあいらん　集会室（１階）
３）案　件　報告３件、議案１１件
４）てん末　報告第１号「理事長職務執行状況」を報告した。
報告第２号「業務監査結果報告(第２四半期)」を報告した。
議案第１号「介護人材確保・職場環境改善等事業に係る特別奨励金支給の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和７年度白鳥ハイツ補正予算(第１号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第３号「令和７年度エンルムハイツ補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第４号「令和７年度あいらん補正予算(第３号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第５号「令和７年度かがやき補正予算(第３号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第６号「令和７年度東町保育所補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第７号「令和７年度法人本部補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第８号「白鳥ハイツ及びエンルムハイツ厨房業務委託契約の件」及び議案第９号「あいらん及びかがやき厨房業務委託契約の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第１０号「職員就業規則一部改正の件」及び議案第１１号「職員の懲戒処分の基準に関する規則一部改正の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。
報告第３号「令和７年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

第５回

１）日　時　　令和８年２月２５日(水)　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　会議室（３階）
３）案　件　　報告４件、議案９件
４）てん末　　報告第１号「理事長職務執行状況」を報告した。
報告第２号「業務監査結果報告(第３四半期)」を報告した。
報告第３号「令和７年度みどり保育園補正予算(第３号)」を報告した。
議案第１号「役員等賠償責任保険契約の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和７年度エンルムハイツ補正予算(第３号)」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第３号「保育所における人事院勧告に係る調整手当支給に関する規則一部改正の件」から議案第８号「令和７年度常盤保育所補正予算(第２号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
報告第４号「令和７年度法人会計決算見込みの件」を報告した。
議案第９号「施設長等任命の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第６回

１）日　時　　令和８年３月２５日(水)　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　会議室（３階）
３）案　件　　議案２１件
４）てん末　　議案第１号「職員給与規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和７年度エンルムハイツ補正予算(第４号)」から議案第４号「令和７年度かがやき補正予算(第４号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第５号「令和７年度双葉保育所補正予算(第２号)」から議案第９号「令和７年度常盤保育所補正予算(第３号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第１０号「令和８年度事業計画」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第１１号「令和８年度白鳥ハイツ予算」から議案第２０号「令

和８年度法人本部予算」までを日程ごとに一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第２１号「保育所における処遇改善手当の支給の特例の関する規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。

≪ 参 考 ≫

評議員連絡会開催状況

１）日　時　　令和７年７月１６日（水）　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　会議室（３階）
３）連絡事項　　４件
４）てん末　　令和７年度役員等の状況について報告した。
法人の概要について報告した。
令和６年度決算状況について報告した。
令和７年度予算について報告した。

役員　事業所視察実施状況

１）日　　時　令和７年１２月１６日(火)　午前１１時３０分～午後３時１５分
２）視察場所　白鳥ハイツ、かがやき、双葉保育所、楽山保育園、白鳥保育所、東町保育所、常盤保育所
３）参加人数　４人

評議員　事業所視察実施状況

１）日　　時　令和７年１２月１７日(水)　午前１１時００分～午後３時４０分
２）視察場所　白鳥ハイツ、エンルムハイツ、あいらん、かがやき、双葉保育所、楽山保育園、白鳥保育所、東町保育所、常盤保育所
３）参加人数　８人